2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社イノベーション　　上場取引所　東
コード番号　　3970　　URL　https://www.innovation.co.jp/ir/
代表者　　（役職名）代表取締役社長 CEO　　（氏名）富田　直人
問合せ先責任者　（役職名）執行役員（経営企画担当）　（氏名）笹岡　大志　　（TEL）03(5766)3800

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,029	△10.1	202	－	181	－	113	－
2026年３月期中間期	3,369	30.0	△261	－	△327	－	△269	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　237百万円 （－%）　2026年３月期中間期　△226百万円 （－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	41.91	－
2026年３月期中間期	△101.72	－

（注）2026年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失のため記載しておりません。2027年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	7,487	3,785	38.9
2026年３月期	7,848	3,650	36.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,914百万円　2026年３月期　2,895百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	40.00	40.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,030	0.9	280	－	240	－	220	－	81.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,787,100株	2026年３月期	2,762,100株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	69,566株	2026年３月期	73,766株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,697,567株	2026年３月期中間期	2,653,720株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 10
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11
（重要な後発事象） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「『働く』を変える」というミッションのもと、創業以来培ってきた営業・マーケティング・テクノロジーのノウハウ及び顧客資産データベースを活かし、ビジネスパーソンのWORKとLIFEを支援する事業を展開しております。

当中間連結会計期間におきましては、収益性を重視した事業運営を推進し、全社的な売上原価並びに販売費及び一般管理費の抑制に継続して取り組みました。その結果、第１四半期に引き続き営業黒字を確保するとともに、親会社株主に帰属する中間純利益についても黒字転換を達成いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は3,029,420千円（前年同期比10.1％減）、営業利益は202,322千円（前中間連結会計期間は営業損失261,833千円）、経常利益は181,770千円（前中間連結会計期間は経常損失327,607千円）となりました。また、法人税等調整額（益）129,318千円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は113,066千円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失269,936千円）となりました。

当中間連結会計期間の報告セグメント別の業績の詳細は、次のとおりであります。

（オンラインメディア事業）

生成AIの普及に伴う情報収集行動の変化と同時に、AIエージェント等によるアクセスも増加したことにより、当中間連結会計期間の来訪者数（延べ人数）は7,287,762人（前年同期比1.2％増）と前年同期と同水準を維持しました。収益性を重視した運営を徹底し、前年同期比で売上総利益率+5.4pt、セグメント利益率+4.2ptの向上に至りました。

以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は1,570,433千円（前年同期比12.0％減）、セグメント利益は577,764千円（前年同期比1.1％減）となりました。

（ＩＴソリューション事業）

ITソリューション事業の主力製品である「List Finder」及び株式会社シャノンの「SHANON MARKETING PLATFORM」におきましては、継続した販管費の見直しにより利益が伸長いたしました。TOBに伴うのれん及び無形固定資産の償却が発生し利益面では一定の影響が生じているものの、グループ化による規模の経済を活かし、マーケティングオートメーション領域での市場シェア拡大を推進しております。

以上の結果、ITソリューション事業の売上高は1,360,642千円（前年同期比0.0％減）、セグメント利益は257,851千円（前年同期比184.5％増）となりました。

（金融プラットフォーム事業）

金融プラットフォーム事業におきましては、収益性を重視した運営への転換のため、コスト削減・組織体制の見直しを継続して行った結果、赤字幅を縮小することができました。引き続き、ビジネスモデルの転換を推進してまいります。

以上の結果、金融プラットフォーム事業の売上高は106,044千円（前年同期比52.6％減）、セグメント損失は36,016千円（前年同期はセグメント損失92,249千円）となりました。

（VCファンド事業）

VCファンド事業は、INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合及びINNOVATION V Capital投資事業有限責任組合に関わるものであります。当中間連結会計期間におきましては株式の売却は実施しておりません。

以上の結果、セグメント損失は33,133千円（前年同期はセグメント損失110,839千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては7,487,735千円となり、前連結会計年度末に比べ360,364千円減少いたしました。これは主に、営業投資有価証券が100,608千円増加し、現金及び預金が68,942千円、受取手形、売掛金及び契約資産が139,275千円、未収還付法人税等が108,241千円、顧客関連資産が37,999千円及びのれんが71,914千円減少したことによるものであります。

負債につきましては3,701,957千円となり、前連結会計年度末に比べ495,469千円減少いたしました。これは主に、契約負債が213,909千円増加し、買掛金が87,339千円、１年内償還予定の社債が20,000千円、１年内返済予定の長期借入金が56,239千円、未払法人税等が24,946千円、未払費用が22,373千円、賞与引当金が65,276千円、長期借入金が203,640千円及び繰延税金負債が139,882千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては3,785,777千円となり、前連結会計年度末に比べ135,104千円増加いたしました。これは主に、非支配株主持分が115,823千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ68,942千円減少し、3,195,407千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は435,896千円（前年同期は277,448千円の獲得）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益181,542千円を計上、減価償却費121,079千円を計上、のれん償却額71,914千円を計上、顧客関連資産償却額37,999千円を計上、賞与引当金が65,276千円減少、売上債権が139,275千円減少、営業投資有価証券が120,055千円増加、仕入債務が84,495千円減少、契約負債が213,909千円増加、利息の支払額19,262千円及び法人税等の支払額64,176千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動の結果支出した資金は127,799千円（前年同期は103,801千円の支出）となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出128,818千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は380,601千円（前年同期は327,277千円の支出）となりました。この主な要因は、短期借入による収入50,000千円、短期借入金の返済による支出24,800千円、長期借入金の返済による支出259,879千円及び配当金の支払による支出110,183千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年８月14日公表の「2027年３月期第１四半期決算短信」における業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,264,349	3,195,407
受取手形、売掛金及び契約資産	850,416	711,140
仕掛品	21,093	39,402
営業投資有価証券	159,578	260,187
前払費用	229,127	234,236
未収還付法人税等	108,255	13
その他	85,027	29,004
貸倒引当金	△3,656	△2,892
流動資産合計	4,714,191	4,466,500
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	70,956	62,963
工具、器具及び備品（純額）	50,600	41,354
有形固定資産合計	121,556	104,317
無形固定資産		
ソフトウエア	500,654	533,013
ソフトウエア仮勘定	89,120	75,183
顧客関連資産	835,999	797,999
のれん	1,294,469	1,222,554
その他	5,521	5,804
無形固定資産合計	2,725,766	2,634,555
投資その他の資産		
投資有価証券	94,947	92,126
関係会社株式	15,067	15,067
繰延税金資産	55,285	50,849
その他	128,763	142,208
貸倒引当金	△7,907	△17,900
投資その他の資産合計	286,155	282,352
固定資産合計	3,133,478	3,021,225
繰延資産		
社債発行費	430	9
繰延資産合計	430	9
資産合計	7,848,100	7,487,735

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,913	167,574
短期借入金	20,600	45,800
１年内償還予定の社債	40,000	20,000
１年内返済予定の長期借入金	518,076	461,837
未払法人税等	99,187	74,241
未払費用	145,556	123,182
契約負債	505,595	719,505
賞与引当金	139,960	74,683
その他	317,210	202,757
流動負債合計	2,041,099	1,889,581
固定負債		
長期借入金	1,834,724	1,631,084
株式給付引当金	43,277	39,826
繰延税金負債	270,938	131,055
その他	7,386	10,410
固定負債合計	2,156,326	1,812,376
負債合計	4,197,426	3,701,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,540	425,602
資本剰余金	2,025,023	2,037,768
利益剰余金	539,948	542,537
自己株式	△81,395	△76,764
株主資本合計	2,899,116	2,929,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,145	△16,942
為替換算調整勘定	138	2,189
その他の包括利益累計額合計	△4,006	△14,753
新株予約権	5,480	5,480
非支配株主持分	750,083	865,906
純資産合計	3,650,673	3,785,777
負債純資産合計	7,848,100	7,487,735

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,369,793	3,029,420
売上原価	1,675,236	1,293,498
売上総利益	1,694,556	1,735,921
販売費及び一般管理費	1,956,390	1,533,598
営業利益又は営業損失（△）	△261,833	202,322
営業外収益		
受取利息	1,818	3,540
受取配当金	1,153	1,364
助成金収入	1,800	2,200
手数料収入	－	66
雑収入	2,663	3,324
営業外収益合計	7,435	10,496
営業外費用		
支払利息	15,400	18,921
社債発行費償却	350	420
支払手数料	55,250	－
投資事業組合運用損	2,185	2,734
雑損失	22	8,972
営業外費用合計	73,209	31,049
経常利益又は経常損失（△）	△327,607	181,770
特別利益		
事業譲渡益	19,996	－
特別利益合計	19,996	－
特別損失		
固定資産除却損	3,044	227
固定資産売却損	1,304	－
投資有価証券売却損	228	－
特別損失合計	4,577	227
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△312,188	181,542
法人税、住民税及び事業税	6,334	64,073
法人税等調整額	△51,249	△129,318
中間純利益又は中間純損失（△）	△267,273	246,787
非支配株主に帰属する中間純利益	2,663	133,721
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△269,936	113,066

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△267,273	246,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,966	△13,317
為替換算調整勘定	△2,075	3,616
その他の包括利益合計	40,890	△9,700
中間包括利益	△226,382	237,086
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△229,436	102,290
非支配株主に係る中間包括利益	3,053	134,796

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△312,188	181,542
減価償却費	105,930	121,079
のれん償却額	71,915	71,914
顧客関連資産償却額	38,000	37,999
受取利息及び受取配当金	△2,972	△4,905
貸倒引当金の増減額（△は減少）	402	9,228
賞与引当金の増減額（△は減少）	62,981	△65,276
株式給付引当金の増減額（△は減少）	973	△3,451
投資事業組合運用損益（△は益）	2,185	2,734
投資有価証券売却損益（△は益）	228	－
事業譲渡損益（△は益）	△19,996	－
支払利息	15,400	18,921
借入手数料	55,250	－
固定資産除却損	3,044	227
固定資産売却損益（△は益）	1,304	－
株式報酬費用	9,209	9,190
売上債権の増減額（△は増加）	161,309	139,275
棚卸資産の増減額（△は増加）	4,671	△17,142
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	△62,838	△120,055
仕入債務の増減額（△は減少）	△28,053	△84,495
契約負債の増減額（△は減少）	268,041	213,909
未払費用の増減額（△は減少）	△2,045	△22,391
前払費用の増減額（△は増加）	△25,980	5,934
その他	63,258	△88,022
小計	410,033	406,217
利息及び配当金の受取額	2,972	4,905
利息の支払額	△16,288	△19,262
法人税等の支払額	△119,290	△64,176
法人税等の還付額	21	108,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	277,448	435,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,211	△942
無形固定資産の取得による支出	△110,736	△128,818
事業譲渡による収入	19,996	－
敷金の回収による収入	65,032	－
その他	117	1,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,801	△127,799

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	50,000
長期借入れによる収入	2,250,000	－
短期借入金の返済による支出	△2,204,200	△24,800
長期借入金の返済による支出	△258,712	△259,879
社債の償還による支出	－	△20,000
借入手数料の支払額	△55,250	－
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	－	△1,500
配当金の支払額	△109,115	△110,183
その他	－	△14,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327,277	△380,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,974	3,562
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△155,604	△68,942
現金及び現金同等物の期首残高	3,576,474	3,264,349
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,420,869	3,195,407

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
役員報酬	94,580千円	77,638千円
給与手当	702,290 〃	624,473 〃
法定福利費	122,259 〃	101,650 〃
賞与引当金繰入額	53,750 〃	45,173 〃
貸倒引当金繰入額	402 〃	9,228 〃
株式給付引当金繰入額	5,500 〃	1,335 〃

２　当社グループは、当中間連結会計期間に係る有価証券の減損処理の方法として、切放し法を適用しております。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金	3,420,869千円	3,195,407千円
現金及び現金同等物	3,420,869千円	3,195,407千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	オンラインメディア事業	ＩＴソリューション事業	金融プラットフォーム事業	VCファンド事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,784,397	1,360,897	223,899	－	3,369,193	600	3,369,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,784,397	1,360,897	223,899	－	3,369,193	600	3,369,793
セグメント利益又はセグメント損失（△）	583,968	90,638	△92,249	△110,839	471,517	△733,351	△261,833

（注）１．調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高600千円は、関連法人からの業務委託料であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△733,351千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	オンラインメディア事業	ＩＴソリューション事業	金融プラットフォーム事業	VCファンド事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,565,802	1,353,823	106,044	－	3,025,670	3,750	3,029,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,631	6,819	－	－	11,450	△11,450	－
計	1,570,433	1,360,642	106,044	－	3,037,120	△7,700	3,029,420
セグメント利益又はセグメント損失（△）	577,764	257,851	△36,016	△33,133	766,466	△564,143	202,322

（注）１．調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高3,750千円は、報告セグメントに帰属しない関連法人からの業務委託料等であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△564,143千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。